

# 全国宅老所・グループホーム・グループハウス 研究交流フォーラム2002開催要綱

自分らしい暮らしを支え合う実践から共生のまちづくりへ

## 開催趣旨

高齢者や障害者が、地域の中でいつまでも「自分らしく」暮らし続けることを支援する拠点として、宅老所やグループホーム、グループハウスが今、大きな関心を集めています。

いずれの取組みも、高齢者や障害者一人ひとりに寄り添うケア、そして共生の地域づくり・まちづくりを目指した実践です。近年ではこのような理念に基づいて、特別養護老人ホームや老人保健施設でもユニットケアに取り組む施設が増えてきました。

5回目の開催となる今回の全国フォーラムでは、阪神・淡路大震災の復興過程で生まれたケア付仮設住宅、またそこから生まれたグループハウス実践からみてきたことを含めて、とくに次の4点について協議します。

1. 震災復興の過程でみてきた高齢者の暮らし・居住のあり方について
2. 生活の継続性を重視した多機能ケアのあり方について
3. 小規模ケアから広がる共生のまちづくり・地域づくりについて
4. 市民・行政協働のまちづくりー実践からの政策化・支援策について

## 日 時

2002年2月23日(土) 12:30~17:40

24日(日) 9:00~16:00

## 会 場

- <全体会会場> 神戸国際展示場2号館1階コンベンションホール  
神戸市中央区港島中町6-11-1  
TEL:078-303-7516 FAX:078-302-1870
- <分科会会場> 神戸国際会議場 神戸市中央区港島中町6-9-1  
TEL:078-302-5200

## 主 催

「全国宅老所・グループホーム・グループハウス研究交流フォーラム2002」実行委員会  
宅老所・グループホーム全国ネットワーク  
兵庫県宅老所・グループホーム・グループハウス連絡準備会  
街かどケア滋賀ネット/呆け老人を抱える家族の会兵庫県支部/兵庫県老人福祉事業  
協会/コープこうべ/兵庫県社会福祉協議会/神戸市社会福祉協議会

## 共 催

特養・老健・医療施設ユニットケア研究会

## 後 援 (予定)

厚生労働省/兵庫県/神戸市

# 内 容 (日程)

第1日目 2月23日(土)

時 間	内 容
11:00~12:30	受 付
12:30~13:00	開 会
13:00~14:00	<p>ー被災地からのメッセージー 「ケア付き仮設住宅の生活から気づき、築いてきた暮らし」</p> <p>◆報告者</p> <p>駒どりの家(兵庫県) 利用者の家族 高 橋 恵 生活支援型グループハウス「きらくえん倶楽部大樹町」(兵庫県) 利用者 松 居 一 郎 グループハウス尼崎(兵庫県) 利用者 吉 田 朝 子</p> <p>◆ファシリテーター 流通科学大学サービス産業学部 教 授 沢 田 清 方</p>
14:00~14:20	休 息
14:20~15:50	<p>ディスカッションⅠー実践者からのレポートー 「高齢者の住まいと暮らしの支援のあり方を考えるー宅老所・グループホーム・グループハウス実践の可能性ー」</p> <p>◆パネラー</p> <p>宅老所「駒どりの家」(兵庫県) 施設長 福 井 初 美 南芦屋浜災害復興公営住宅シルバーハウジング(兵庫県) 主任生活援助員 城 戸 昌 子 グループハウス尼崎(兵庫県) 主 任 松 尾 利 恵</p> <p>◆サポーター 国土交通省住宅局住宅総合整備課 高齢者住宅整備対策官 橋 本 公 博</p> <p>◆コーディネーター 大阪大学大学院 教 授 大 熊 由 紀 子</p>
15:50~16:10	休 息
16:10~17:40	<p>ディスカッションⅡ 「震災からみえてきた共生・協働のまちづくり」</p> <p>◆パネラー</p> <p>厚生労働省 年金局長 辻 哲 夫 宮城県 知 事 浅 野 史 郎 兵庫県 知 事 井 戸 敏 三</p> <p>◆コーディネーター ジャーナリスト 村 田 幸 子</p>
18:00~18:30	宅老所・グループホーム全国ネットワーク総会
19:20~21:00	<p>交流会</p> <p>*神戸の夜景をお楽しみいただきながら、交流を深めてください*</p>

時 間	内 容
9:00~12:00	<p><b>第1分科会「震災復興から生まれた高齢者の新たな住まい方ーグループハウス、LSAの取り組み」</b>  震災復興から生まれてきた実践を振り返り、これからの高齢者の住まいを考えます。</p> <p>◆パネラー  西宮市健康福祉局長寿福祉課(兵庫県) 課 長 西 尾 健  阪神高齢者・障害者支援ネットワーク(兵庫県) 副代表 黒 田 裕 子  京都大学工学部 助 手 三 浦 研</p> <p>◆コーディネーター  大阪府立大学社会福祉学部 専任講師 藤 井 博 志</p> <p><b>第2分科会「わたしたちが望むケアってなんだろうー利用者・家族が語るー」</b>  利用者の生活を支えるケアとは何でしょうか。利用者・家族を交えて、ともに考える分科会です。(※ワークショップ形式のため50人限定)</p> <p>◆事例報告者 &lt;調 整 中&gt;</p> <p>◆ファシリテーター  高齢者痴呆介護研究・研修東京センター 主任研究主幹 永 田 久美子</p> <p><b>第3分科会「宅老所・グループホームをこれから始めたい方へ(入門編)」</b>  “地域の仲間と宅老所を立ち上げたい!” “グループホームを開設したい”と考えている方を対象にした分科会です。</p> <p>◆事例報告者  グループ「もみじ」(長野県) 代 表 田 中 正 廣  グループハウス「てみずの会」(兵庫県) 代 表 桑 原 美千子  デイホーム「ホープ」(兵庫県) 代 表 高 谷 のぞみ  ふるさとの家「城下」(長崎県) 代 表 小 関 みどり</p> <p>◆コーディネーター  さいたま市障害性高齢者小規模デイサービス連絡会 代 表 西 村 美智代</p> <p><b>第4分科会「地域で支える宅老所・グループホーム・グループハウス実践(多機能編)」</b>  全国各地のいろいろなスタイルの実践をご紹介しますとともに、地域密着の小規模多機能ケアのあり方について意見交換をおこないます。</p> <p>◆パネラー  宅老所「はな」(滋賀県) 代 表 林 淳 子  「ぶどうの家」(岡山県) 代 表 津 田 由紀子  宅老所「ながせ」(佐賀県) 代 表 西 田 京 子  在宅ケアサービス「さざんか園」(鹿児島県) 代 表 黒 岩 尚 文</p> <p>◆サポーター  国際医療福祉大学医療福祉学部 専任講師 山 口 光 治</p> <p>◆コーディネーター  栃木県社会福祉協議会 事務局長 山 田 昇</p>

# 第5分科会「地域で支える宅老所・グループホーム・グループハウス実践（共生編）」

高齢者や障害者、児童の生活を地域でささえあうために必要な地域ケアのあり方について検討します。

## ◆パネラー

宅老所「ひなたぼっこ」（宮城県）	代 表	布 田 幸 子
デイケアハウス「手をつなごう」（富山県）	施設長	能 町 操
高浜市福祉部（愛知県）	部 長	岸 本 和 行
宅老所「ぬくもりの家」（兵庫県）	代 表	高 木 玲 子

## ◆サポーター

厚生労働省障害保健福祉部障害福祉課	障害福祉専門官	山 口 和 彦
-------------------	---------	---------

## ◆コーディネーター

小規模デ「付」ス・グループホーム千葉県連絡会	事務局長	池 田 徹
------------------------	------	-------

# 第6分科会「宅老所・グループホーム・グループハウス運営術！！」

他機関との連携や職員養成、経営など、具体的な運営面の取組みについて意見を交わします。宅老所・グループホーム・グループハウスの組織管理者の皆さん、是非ご参加ください。

## ◆パネラー

グループハウス「さくら」（埼玉県）	代 表	小 川 志 津 子
宅老所「はじめのいっぽ」（愛知県）	代 表	野 上 美 千 代
宅老所「ひだまり」（兵庫県）	施設長	佐 倉 エミ子
グループホーム「夕日館」（愛媛県）	施設長	湯 上 千恵美

## ◆コーディネーター

宅老所・グループホーム全国ネットワーク	代表世話人	樋 谷 和 夫
---------------------	-------	---------

# 第7分科会「ユニットケアのすすめー施設の地域化ー」

今、注目されているユニットケアが目指すもの、地域づくり・まちづくりに結びつく可能性を考えます。施設関係者必見！

## ◆パネラー

特養「けま喜楽苑」（兵庫県）	主任相談員	小 林 浩 司
特養「万葉苑」（奈良県）	主任生活相談員	小 寺 一 隆
グループホーム「きなっせ」（熊本県）	代 表	川 原 秀 夫
季刊「痴呆性老人研究」	編集長	泉 田 照 雄

## ◆サポーター

厚生労働省老健局計画課	課長補佐	石 黒 秀 喜
きのこエスポール病院	院 長	佐々木 健

## ◆コーディネーター

特養・老健・医療施設ユニットケア研究会	代 表	武 田 和 典
---------------------	-----	---------

# 第8分科会「地域を元気に！ミニデイサービス・ふれあいいきいきサロンのすすめ」

身近な地域で、気軽に参加できるミニデイサービスやふれあいいきいきサロンで活動している方、これからサロンをつくりたい方を対象にした分科会です。

## ◆パネラー

「あそびりクラブ」（大阪府）	代 表	八 東 庸 子
神戸市保健福祉局高齢福祉部（兵庫県）	高齢福祉課長	須 崎 繁 男
香住町社会福祉協議会（兵庫県）	事務局次長	青 山 栄 作
コブふれあいサロン（兵庫県）	ボランティア	沖 田 勝 子

## ◆コーディネーター

「寝屋川市民助け合いの会」（大阪府）	事務局長	富 田 昌 吾
--------------------	------	---------

	<p><b>第9分科会「ささえあうまちづくりー市民、行政、事業者のパートナーシップを考える」</b></p> <p>一般市民、宅老所、グループホーム、グループハウス実践者と行政が「まちづくり」の視点でどのように具体的に連携・協働ができるのか、その方向性を考えます。</p> <p>◆パネラー</p> <table border="0"> <tr> <td>富山県厚生部高齢福祉課</td> <td>係 長</td> <td>岡 本 達 也</td> </tr> <tr> <td>「このゆびとーまれ」(富山県)</td> <td>副代表</td> <td>西 村 和 美</td> </tr> <tr> <td>今市市市民福祉部厚生福祉課(栃木県)</td> <td>課 長</td> <td>前 波 真 一</td> </tr> <tr> <td>グループホーム「ひばり」(栃木県)</td> <td>施設長</td> <td>平 木 千紗子</td> </tr> <tr> <td>彦根市福祉保健部介護福祉課(滋賀県)</td> <td>係 長</td> <td>谷 澤 幸 治</td> </tr> <tr> <td>「湯だまりの家」(滋賀県)</td> <td>代 表</td> <td>江 畑 民 子</td> </tr> </table> <p>◆コーディネーター</p> <table border="0"> <tr> <td>滋賀県地方自治研究センター</td> <td>常務理事</td> <td>北 川 憲 司</td> </tr> </table>	富山県厚生部高齢福祉課	係 長	岡 本 達 也	「このゆびとーまれ」(富山県)	副代表	西 村 和 美	今市市市民福祉部厚生福祉課(栃木県)	課 長	前 波 真 一	グループホーム「ひばり」(栃木県)	施設長	平 木 千紗子	彦根市福祉保健部介護福祉課(滋賀県)	係 長	谷 澤 幸 治	「湯だまりの家」(滋賀県)	代 表	江 畑 民 子	滋賀県地方自治研究センター	常務理事	北 川 憲 司
富山県厚生部高齢福祉課	係 長	岡 本 達 也																				
「このゆびとーまれ」(富山県)	副代表	西 村 和 美																				
今市市市民福祉部厚生福祉課(栃木県)	課 長	前 波 真 一																				
グループホーム「ひばり」(栃木県)	施設長	平 木 千紗子																				
彦根市福祉保健部介護福祉課(滋賀県)	係 長	谷 澤 幸 治																				
「湯だまりの家」(滋賀県)	代 表	江 畑 民 子																				
滋賀県地方自治研究センター	常務理事	北 川 憲 司																				
12:00~13:00	休 憩																					
13:00~14:20	<p><b>ディスカッションⅢ</b></p> <p><b>「生活の継続性を重視した多機能ケアのあり方を検証する」</b></p> <p>◆パネラー</p> <table border="0"> <tr> <td>「共生舎なんてん」(滋賀県)</td> <td>代 表</td> <td>溝 口 弘</td> </tr> <tr> <td>第2宅老所「よりあい」(福岡県)</td> <td>施設長</td> <td>村 瀬 孝 生</td> </tr> <tr> <td>日本福祉大学社会福祉学部</td> <td>教 授</td> <td>平 野 隆 之</td> </tr> </table> <p>◆サポーター</p> <table border="0"> <tr> <td>厚生労働省老健局</td> <td>企画官</td> <td>樽 見 英 樹</td> </tr> </table> <p>◆コーディネーター</p> <table border="0"> <tr> <td>東北福祉大学総合福祉学部</td> <td>教 授</td> <td>高 橋 誠 一</td> </tr> </table>	「共生舎なんてん」(滋賀県)	代 表	溝 口 弘	第2宅老所「よりあい」(福岡県)	施設長	村 瀬 孝 生	日本福祉大学社会福祉学部	教 授	平 野 隆 之	厚生労働省老健局	企画官	樽 見 英 樹	東北福祉大学総合福祉学部	教 授	高 橋 誠 一						
「共生舎なんてん」(滋賀県)	代 表	溝 口 弘																				
第2宅老所「よりあい」(福岡県)	施設長	村 瀬 孝 生																				
日本福祉大学社会福祉学部	教 授	平 野 隆 之																				
厚生労働省老健局	企画官	樽 見 英 樹																				
東北福祉大学総合福祉学部	教 授	高 橋 誠 一																				
14:20~15:50	<p><b>ディスカッションⅣ</b></p> <p><b>「宅老所・グループホーム・グループハウスが変える高齢者ケア」</b></p> <p>◆パネラー</p> <table border="0"> <tr> <td>グループハウス尼崎(兵庫県)</td> <td>施設長</td> <td>中 村 大 蔵</td> </tr> <tr> <td>宅老所・グループホーム全国ネットワーク</td> <td>代表世話人</td> <td>高 木 敏 江</td> </tr> <tr> <td>厚生労働省老健局計画課</td> <td>課 長</td> <td>石 井 信 芳</td> </tr> <tr> <td>京都大学大学院</td> <td>教 授</td> <td>外 山 義</td> </tr> </table> <p>◆コーディネーター</p> <table border="0"> <tr> <td>全国社会福祉協議会</td> <td>事務局次長</td> <td>和 田 敏 明</td> </tr> </table>	グループハウス尼崎(兵庫県)	施設長	中 村 大 蔵	宅老所・グループホーム全国ネットワーク	代表世話人	高 木 敏 江	厚生労働省老健局計画課	課 長	石 井 信 芳	京都大学大学院	教 授	外 山 義	全国社会福祉協議会	事務局次長	和 田 敏 明						
グループハウス尼崎(兵庫県)	施設長	中 村 大 蔵																				
宅老所・グループホーム全国ネットワーク	代表世話人	高 木 敏 江																				
厚生労働省老健局計画課	課 長	石 井 信 芳																				
京都大学大学院	教 授	外 山 義																				
全国社会福祉協議会	事務局次長	和 田 敏 明																				
15:50~16:00	閉 会																					

## 参加対象

1,500人

宅老所、グループホーム、グループハウス実践者、特養・老健などで高齢者の介護に関わっている方、地域ボランティア、介護者、利用者ご本人、行政関係者、研究者等

## 参加費

12,000円

## 参考資料代

3,000円(全国ネットワーク会員は1,000円)

## 交流会費

8,000円

# 交流会は



# ミュージック・グルメ船「コンチエルト」で

海から眺める神戸の美しい夜景を見にきてください。

ジャズの生演奏に耳を傾けながら、庵富徳プロデュースによる中華バイキングに舌鼓。

港町神戸が満喫できる船上からの夜景を心ゆくまで堪能いただけます。

すばらしい心の出逢いになりますように。



**日時** 2月23日(土) 19:20~21:00すぎ

**会場** ミュージック・グルメ船  
「コンチエルト」

フォーラム会場から直通バスが出ます

**定員** 450名(先着順)

**会費** 8,000円

(送迎バス代および乗船料を含む)

全国のさまざまな地域で、それぞれの思いで活動する人の出逢いの場に...

参加いただいた皆さんがざっくばらんに語り合える場に...

震災後の神戸の復興の灯りを見ていただける場に...

被災地からのたくさんの「ありがとう」を伝えたくて...

～ぜひお越しください お待ちしています～

